



暑寒だより

北海道雨竜高等養護学校

寮務部通信 3月号

令和8年3月24日発行

文責 柳原 紀子

「仲間と共に」



校長 田中 敏春

今年度は3年生22名が無事に卒業し、学校、寄宿舎から新たな生活に向けて、旅立ちました。

寄宿舎生のみなさん、今年一年を振り返り、どのように過ごしてきたでしょうか。寄宿舎生活は、集団生活が基盤ですので、いろいろな決まりを守りながら、共に生活する仲間と助け合いながら、自立した生活をしていくことが大切なことです。

「仲間」と共に生活する、この「仲間」にはそれぞれに個性がありますので、生活を共にすることは簡単なことではないと思います。だからこそ、自分や仲間の生活を充実させるために、仲間のことを考え、理解し、お互いを認め合い助け合いながら、それぞれの良さを発揮し生活を充実させる、そこに寄宿舎生活という集団生活を通して生活力を高めることの意味、価値があります。

寄宿舎生活を通して、良かったことばかりではなく、悩んだり不安になったり、時には仲間に不快な思いをさせてしまったこともあったかもしれません。そこで大切なことは、悩みや不安があるときは「相談」すること、自分の行いを反省し望ましく生活するためにはどのようにすれば良いのか「振り返り」をすることです。この「相談する力」を高め「振り返り」をしっかりすることを忘れずに、4月からの生活に向けて気持ちを新たにして、様々な準備をしてください。

保護者の皆様、日頃より安心・安全な寄宿舎生活のために、御理解と御協力をいただきありがとうございます。個性豊かな仲間と共に集団生活を通して、生徒一人一人が主体的に生活する力を伸ばすために、寄宿舎、御家庭、それぞれの役割を果たしながら、取り組んできました。この一年間の成長とこれからの期待について、是非とも御家庭で一緒に振り返り、これからの生活に生かしていただければと思います。

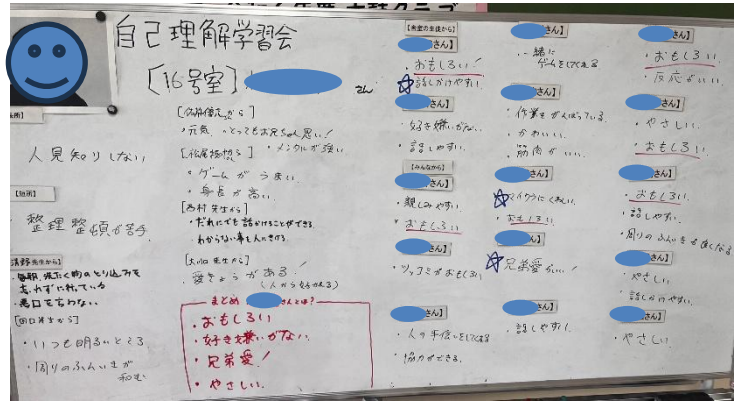
令和8年度もよろしくお祈りします。

自己理解学習会

男子棟・女子棟のそれぞれで、1学年を対象に『自己理解学習会』を行っています。寄宿舎では、棟ごとの外食や部屋会、お楽しみ会などの余暇活動以外にも、定期的に様々な学習会を実施しています。

寄宿舎は集団生活の場ですので、共同生活のマナーやルールを守り、互いに気持ちよく過ごせるように協力し合う場面が多々あります。

お互いに仲良く、協力し合っていくために、学習会を通して一人一人の良いところを見つけていこうといった取り組みです。一人ずつ順番に行っていますが、この学習を行うことで、自分でも気づかなかった自分の長所に気づくきっかけになったり、他の人の良いところを改めて探すきっかけになったりしているようです。自分から見た自分、他者から見た自分の両面をお互いに知ることで、それぞれの持つ良さや違いを認め、仲を深めるきっかけの学習になっています。



春休みの過ごし方について

明日から春休みが始まります。春休みは14日間あります。進級するにあたって必要なものをそろえたり、学校に提出するプリントを準備したり、制服や作業服の洗濯をするなど、新年度を迎えるための大切な準備期間です。

気持ち良く新年度を迎えられるように、次のことに留意しながら、規則正しく過ごすよう心掛けましょう。

- 1 早寝・早起きを基本に規則正しい生活を心掛けること(起床6:30、就寝22:00)。
- 2 食事は、朝・昼・晩と3食きちんと食べること。
- 3 外出する際は、必ず家の人に行き先、帰宅時間を告げること。
- 4 家の人以外の車には乗らないこと。
- 5 落雪など危険が予測される場所は避けて、交通事故に十分気を付けて行動すること。

4月の予定

- 7日(火) 帰舎日
- 8日(水) 着任式、1学期始業式
- 9日(木) 入学式
- 10日(金) 帰省日
- 12日(日) 帰舎日
- 16日(木) 寄宿舎歓迎会
- 17日(金) 帰省日
- 19日(日) 帰舎日
- 24日(金) 帰省日
- 26日(月) 帰舎日
- 29日(水) 昭和の日

4月入浴日

男子 14日、21日

女子 13日、20日、27日

男女 16日、23日、30日

※他はシャワー浴のみとなります



次の登校日は4月8日(水) 帰舎日は4月7日(火)です。